

長谷川 佳彦

法学研究科・准教授

【研究】

2015年度から取り組んできた、ドイツにおける行政訴訟の類型の拡大・変容に関する歴史的研究のまとめとして、第2次世界大戦後の状況の研究成果を阪大法学68巻3号、5号に発表した。その一方で、平成30年度科学研究費助成事業(挑戦的研究(開拓))に採択されたことを受けて、研究分担者として、関西・中国地区の行政不服審査会の状況を調査するため、答申等の収集・分析を進めた。また、民商法雑誌154巻5号で最決平成29年12月19日の評釈を公表した。この他、以前に執筆を担当した『コンメンタール行政法Ⅰ 行政手続法・行政不服審査法〔第3版〕』が公刊された。

【教育】

法学部において「行政法3」、「フレッシュマンセミナー」を、法学研究科において「行政法特殊講義2」を、高等司法研究科において「行政法基礎」、「行政法応用1E・1F」、「公法訴訟」(世話教員)をそれぞれ担当した。

【管理運営】

法学部教務委員会委員及び法学研究科・高等司法研究科の学生支援室室員を務めている。前者については、来年度の法学部法学科の時間割の調整作業を担当した。また、蛋白質研究所研究倫理審査委員会委員も務めている。

【社会貢献】

大阪府情報公開審査会委員(2018年9月まで)、大阪府個人情報審議会委員(2018年5月から)、大阪市個人情報保護審議会委員(2018年3月まで)及び大阪市情報公開審査会委員(2018年7月から)を務めた。大阪府情報公開審査会では会長代理・第2部会長の職にあった。また、野呂充教授をサポートして、東アジア行政法学会第13回学術総会の開催準備及び運営に当たった。